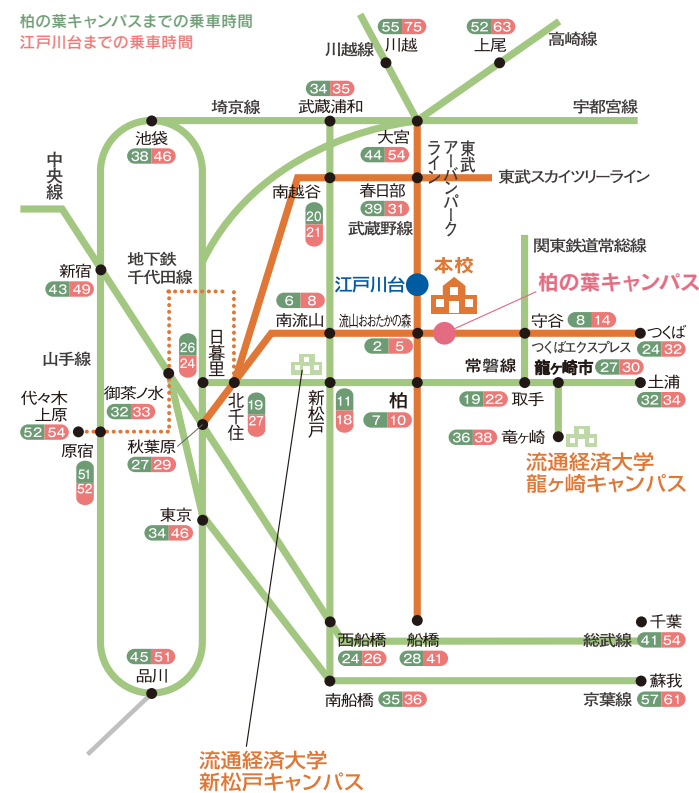
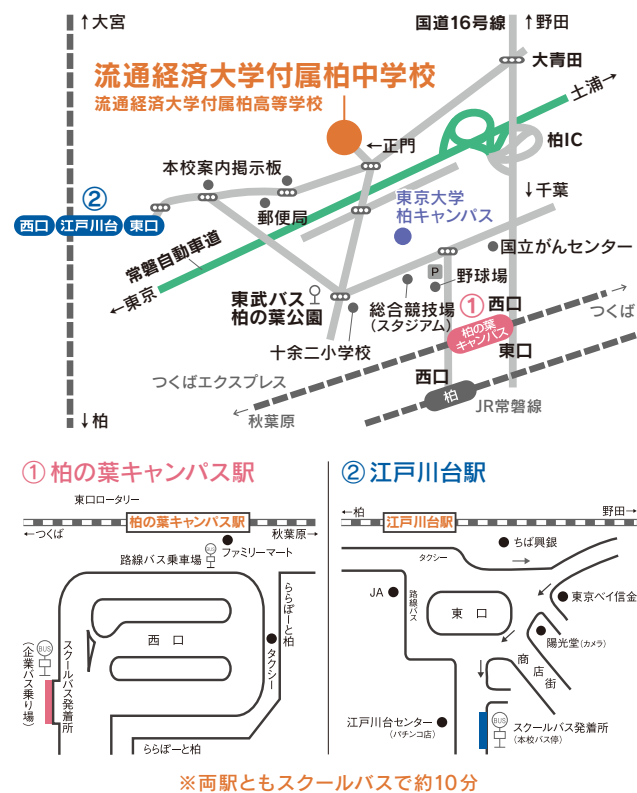


ACCESS MAP



SCHOOL BUS



GUIDE BOOK 2024

笑顔が未来を創る

SMILE CREATES THE FUTURE

〔2024年度 生徒募集〕 小学生・保護者対象説明会(予定)

中学校学校説明会【学年不問】

6月10日(土)
7月8日(土)
8月26日(土)

中学校体験・見学会(オープンスクール)【学年不問】

7月22日(土)

中学入試説明会【6年生限定】

10月9日(祝・月)
10月28日(土)
11月12日(日)
11月26日(日)

※受付9:00～ 開始10:00～ ※参加者はHPより予約をお願いします。 ※保護者のみの参加も可能です。
※つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス駅(西口)」および、東武アーバンパークライン「江戸川台駅(東口)」よりスクールバスを運行します。[9:05/9:30]
※諸般の事情により変更する場合もございます。HPにてご確認ください。



流通経済大学付属柏中学校

あなたたちの 思いをかなえます。

2023年4月に生まれたばかりの流通経済大学付属柏中学校。

そこでは一期生が明るく楽しい学校生活を送っています。

今私たちはキミたちと一緒に歴史のページを開きました。

充実した環境の中で勉強、部活動、学ぶことの大切さ、

クラスメイトとの語らいに笑顔を絶しません。

中学、高校の6年間を伴走者として一緒に走り続けます。

努力を惜みず、笑顔あふれる学校生活。

その先にあるあなたたちの思いをかなえます。

沿革

The history of RYUKEI KASHIWA

1985年 3月 流通経済大学付属柏高等学校設置認可
1985年 4月 流通経済大学付属柏高等学校開設
1985年 11月 体育館竣工
1988年 4月 普通科Ⅱ類開設
1995年 11月 創立10周年記念式典挙行
1998年 5月 生徒会館（尚志館）竣工
1999年 4月 普通科Ⅲ類開設
2001年 7月 校舎3階多目的ホール増設
2002年 9月 第2グラウンド（サッカー場）竣工
2005年 5月 第1、第2グラウンド完全人工芝化
2005年 6月 創立20周年記念式典挙行
2006年 4月 硬式野球場竣工
2012年 4月 スクールバスロータリー、部室棟竣工
2013年 4月 校舎2号館（食堂併設）竣工
2014年 9月 第2体育館（2階建）竣工
2015年 10月 創立30周年記念式典挙行
2019年 3月 多目的グラウンド竣工
2021年 4月 コース名変更
2023年 4月 流通経済大学付属柏中学校開校

生徒と教師が、同じ気持ちを持ちながら 響きあうことのできる学校です

1985年、学校法人日通学園 流通経済大学付属柏高等学校として開校以来、「智識(智慧と見識)の涵養と真利探究の精神を培い、日本的教養と国際性を身につけながら、正義、誠実の心と勇気ある気質を育てる」という教育方針の下、リーダーとして国際社会に貢献できる社会有為の人材の育成に努めてまいりました。

21世紀に入り20年以上が経過しましたが、わが国を取り巻く社会情勢は著しく変化し、今後も社会は大きく変わっていくことが予想され、次世代を担う人材の育成はますます重要な課題となっていきます。

新型コロナウイルス問題は2類から5類へと変更されましたが、世界は今までとは異なる「ニューノーマル」の時代に突入しています。IT技術やAIの発達によって、社会全体に変化が生じ、学校教育の在り方も変わっていくと考えられます。10～20年後には、日本の労働人口の約半数が人工知能やロボットなどに代替可能と発表している研究機関もあります。それ故に、未来を力強く切り拓く力を持った生徒を育成する必要があります。

本学園が中高一貫教育をめざす「流通経済大学付属柏中学校」を開校したのは、未来を見据えた新たな教育「未来創造教育」を実践するためです。人間の能力が最も発達するこの時期に、失敗を恐れず、トライ&エラーを繰り返すことで自身を成長させ、社会の変化に柔軟に対応できる知識と能力を身につけ、「夢の実現」に向けて常に前向きに精進してほしいと願っております。安全安心を第一に考え、生徒たちが学校生活を毎日楽しく送れるように、生徒、教員、保護者、さらには地域住民の方々にも協力を得て、皆が一体となって、まだ何色にも染まっていない、未来に向かった新しい学校づくりと一緒に志していきましょう。

校長 赤城政広 AKAGI Masahiro

2023年4月、60年に及ぶ歴史と伝統を有する日通学園が、
文武両道の活躍で高い実績を誇る流通経済大学付属柏高等学校との中高一貫をめざす
「流通経済大学付属柏中学校」を開校しました。

教育の特色として掲げる、グローバルコミュニケーション教育、ICT共創教育、流経リーダーシップ教育の三つを融合させた「未来創造教育」により、将来、日本や世界の礎となって活躍できる有為な人材の育成を目指します。

中高での6年間は、一貫校のメリットと流通経済大学の付属であることのメリットを最大限に活かした教育メソッドで、確かな学力と人間力を身につけ、国公立大学や難関私立大学への現役合格を目指します。また、芸術やスポーツなど、自分の特技・特長などを活かす学部を有する大学への進学希望者に対しても全力でサポートします。

未来創造教育

新しい時代を 切り拓く 若者を育てる

グローバル企業の理念と大学の 教育理念に基づく中高一貫校

日本通運(NX)株式会社の「社会に貢献し、豊かな未来を創る」という企業理念と、流通経済大学の「世界に雄飛する社会有為な人材の育成」という教育理念をバックボーンに、独自の教育プログラムを展開します。

学校像

主体性を持って未来を切り拓き、グローバル社会で組織のリーダーとして活躍できる生徒の育成

生徒像

社会の変化に柔軟に対応できる豊富な知識と能力を身につけ、高い志を抱いて未来を切り拓く生徒

〔教育の3本柱〕

グローバル コミュニケーション教育

実用英語を磨き、語学で広がる世界を知る

英会話での生活体験
ALLイングリッシュ・キャンプ

実学×未来プログラム
シリーズ「世界と日本文化」

英語が飛び交う学校生活
充実のネイティブ教育体制

大画面の迫力映像で世界とつながる
バーチャル留学ルーム

常設の海外(英語だけの)空間
ENGLISHラウンジ



ICT 共創教育

探究する楽しさ創り出す喜びを知る

ICTを活用したSTEAM学習
SDGs探究グループ学習

実学×未来プログラム
シリーズ「最新テクノロジー」

ICTを活用した創作活動
デジタルアート展

興味広がる・いつでも学べる
オンライン・キャンパス併設
(デジタル科学館・電子図書館完備)

SDGsラボ
校内全域高速Wi-fi環境



流経 リーダーシップ教育

人との絆、誠実さ、勇気の大切さを知る

社会を担う生徒たちの自主企画
地域との交流行事

実学×未来プログラム
シリーズ「活躍する先輩」

チームワーク体験学習
プロジェクト・アドベンチャー実習

目標は高く、大きく
中高一貫での部活動

屋外大型プロジェクト・アドベンチャー施設
(流経大施設)



日通学園との連携・サポートによる“特別な体験・学び場の創出”

日本通運(NX)株式会社の未来人財育成事業との連携

付属柏高校でも実績ある流経大との授業・教育企画連携

職場体験

国内外の施設見学

国際・社会貢献活動体験

講師派遣

キャリア教育支援

国際交流支援

講座開講

教員・学生派遣

施設提供

教職員研修



中高一貫教育プログラム

理想の6年間がここにある

何もかもが初めての取り組みだからこそできる
思いきったチャレンジ。そこから生み出されるもの
が、流経大柏中学の歴史を作り上げていきます。
新しい学校しか持ち得ない特別な雰囲気の中、
色も模様もない真っ白な地図に、仲間たちと
未来を描いていく。そんな6年間をパイオニア
(開拓者)であるあなたたちとともに歩んでい
きたいと思います。



中高一貫教育の先取り学習で絶対合格

本校では6年一貫教育の利点を最大限に活かし、先取り学習を実施。
特に英語・数学・理科は中学の学習内容を早めに終え、高校の内容
にも入ります。高校3年次からは共通テスト対策演習等、大学受験
に向けた様々な演習や講座で、生徒一人ひとりの志望大学に合わ
せた授業を行っていきます。

**難関国立大学や難関私立大学への
現役合格を目指します。**

国公立大学・難関私立大学現役合格を果たすことのできる学力の
向上とともに、生徒自身が将来を見つめるためのキャリア教育にも
力を注いでいきます。

将来を見据える充実したキャリアガイダンス

語学教育に力を入れてきた本校のキャリア教育は常にグローバ
ルな視点を求めます。そして、将来の目標を持ち、叶えたいという意
志、想いを行動にする実行力を育みつつ、受験指導を行う。これが
本校の進路指導です。広く社会を学び、6年後の大学受験だけで
なく、その先に続く未来に、確かな目標を持って歩み続けることの
できるグローバルリーダーの育成を目指しています。

高校の進学実績【主な大学】

東京大学・一橋大学・東京工業大学・大阪大学・
東北大学・九州大学・東京外語大学・筑波大学・
千葉大学・埼玉大学・東京学芸大学・東京藝術大学・
早稲田大学・慶應義塾大学・東京理科大学・
上智大学・学習院大学・明治大学・青山学院大学・
立教大学・中央大学・法政大学・流通経済大学 など

中高一貫のカリキュラムデザイン

学年	← 基礎力養成期 →		← 実力養成期 →		← 完成期 →	
	1年生(中1)	2年生(中2)	3年生(中3)	4年生(高1)	5年生(高2)	6年生(高3)
6年一貫の指導について	基本的な知識の吸収とともに、この時期に必要な考え方や学び方を身につけさせ、何事にも主体的に取り組む姿勢を養っていきます。実際の授業では、ICTを活用しながら好奇心を高めさせ、探究型の興味を高める指導を行い、自分の力で答えを探し出す力を育てます。また、互いに協力して取り組むことを意識させて、全体のレベルアップを図ります。		これまで身につけてきた基礎力を土台にして、より様々な角度から物事を考察する力や、豊かな発想力でより深い考え方を育てていきます。この時期からはワンランク上の知識や情報を吸収することで、高い目標を設定し、自分の可能性に向き合いながら、チャレンジ精神を育てていきます。また、「振り返り」も大切にし、ここまで吸収してきた知識を総ざらいし、足元をしっかりと固めながら次のステップへ進みます。		これまで養ってきたそれぞれの能力を最大限に発揮し、より専門的な学問への取り組みへとつなげ、自分の目指す進路を開拓していきます。カリキュラムとしては文系・理系の別はありますが、「社会に出て貢献できる人材」という大局的な視点を失わないようにしていきます。「どこに進学したか」という以上に、「そこで何をするのか、何ができるのか」という、自分の将来の設計図を明確にしたうえで、それぞれが掲げた目標の実現に取り組ませていきます。	
学習進度	中学履修範囲			高校履修範囲		受験対策
クラス編成	通常クラス		習熟度展開		理系・文系クラス	
総合学習等	「未来を生きる力を身につける」 自分を知る／環境問題について考える／国際理解を図る／福祉や健康を考える等					



国公立・難関大学等進学へ

流通経済大学付属柏中学校 ～高等学校一貫カリキュラム～

	1年生(中1)	2年生(中2)	3年生(中3)	4年生(高1)	5年生(高2)		6年生(高3)	
				共通	文系	理系	文系	理系
1	国語	国語	国語	現代の国語	論理国語	論理国語	論理国語	論理国語
2				言語文化	古典研究	古典研究	文学国語	古典研究
3								
4	社会	社会	社会	歴史総合	選択国／数B	地理総合	数学Ⅲ	
5					地理総合	数学Ⅱ		古典研究
6	数学	数学	数学	公共			日本史探究 世界史探究	
7								
8				理科	理科	理科	数学Ⅰ	倫理
9								
10	音楽	音楽	音楽				数学A	数学Ⅱ
11								
12				音楽／美術	音楽	音楽	化学基礎	物理基礎
13								
14	美術	美術	美術				生物基礎	体育
15								
16				体育	体育	体育	体育	保健
17								
18	技術家庭	技術家庭	技術家庭				保健	音/美/書
19								
20				英語	英語	英語	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅡ
21								
22	英語	英語	英語				論理・表現Ⅰ	論理・表現Ⅱ
23								
24				道徳	道徳	道徳	情報Ⅰ	家庭基礎
25								
26	特別活動	特別活動	特別活動				総合探究	総合探究
27								
28				総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	HR	HR
29								
30	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間				HR	HR
31								
32				総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	HR	HR
33								
34	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間				HR	HR
35								

英 語

ENGLISH



どうして英語が大切なのか

英語は世界人口の21%、約15億人の人々に使用されています。英語を第1言語とする国は12カ国、公用語・準公用語とする国は50カ国もあるのです。これだけたくさんの人たちとコミュニケーションが取れるようになれば、それだけ“自分の世界”も広がりますよね？英語を学ぶこと、話せることで世界が広がれば、皆さんの可能性も大きく広がります。だから、英語は大切なのです。



英語で「考え」、「伝える」力を伸ばす

楽譜を読む勉強をするだけではピアノが弾けるようにならないように、英語も机上の勉強だけでは使えるようにはなりません。目で見ても耳で聞き声に出し、何度も間違えながら繰り返し練習を重ねることで、しっかりとした英語の基礎が出来上がっていきます。生徒たちが仲間との関わりの中で楽しく能動的に学習を続けていけるよう、授業内外でさまざまな仕組みを用意しています。

英語担当：館林 あずさ 先生 TATEBAYASHI Azusa

英語を身につけるための4つのポイント

1 しっかりとした発音を身につける

しっかりとした発音を身につけるのはなぜか。それは相手に伝えることはもちろん、リスニング（英語を聴き取る力）にも直結するからです。正しい発音ができるようになるということは、その音を覚えていくということです。つまり、英語を聴く時にも音声をしっかりとりとることができるということなのです。そのため、本校では標準的な発音を皆さんに教えます。

2 文法＋語彙＝英語の土台

正しい発音を身につけた次は、それを使ってコミュニケーションを取るため、授業では文の構造や語順（文法）と語彙を学びます（その際、日本人が苦手とする「look」「watch」「see」などのニュアンスの違いなどにも触れます）。

3 「聴く」と「話す」は、ワンセット

リスニング力を上げるため、「英語をたくさん聴くこと」に加え、3つのトレーニングを行います。まず、聞いた音声を書き取る「ディクテーション」を行い、英文の意味や文法を確認して「音読」を繰り返します。次に、音声と一緒に英文を音読する「オーバーラッピング」を実施。そして耳だけを頼りに音声を追いかけるように発音する「シャドーイング」を行います。大切なのは「リズムとテンポ」。この取り組みを積み重ね、リスニング力をアップさせます。

4 「アウトプット」の大切さ ～オンライン英会話の導入～

身につけた（身につくにつく）英語の力を「使える英語」へと発展させるために必要なのは「アウトプット」にほかなりません。そこで本校では英語をアウトプットする実践の場として「オンライン英会話」システムを導入します。オンラインを通じて皆さんとコミュニケーションを取るのには、海外で英語力を磨いた講師陣。時には思うように言葉が出ないこともあるかも知れませんが、その経験こそが何にも代えがたい上達への近道となるのです。

普段の授業、2本の柱

〔 様々な音読活動 〕

授業には2つの柱があります。ひとつは「音読」。音読は英語の学びに欠かせない学習方法ですが、ただ繰り返し読むだけでは高い効果は望めません。大切なのは、英文の構造や意味をしっかりと理解した上で様々なバリエーションの音読を行うこと。授業では一文一文を「意味を考えながら読む」ことを大切に取り組み、頭の中に多くの英文をインプット。「英語の基礎」を染み込ませます。

〔 ラウンド方式の授業 〕

本校の目指すところは「骨のある、確実な英語力を身につけてもらうこと」です。それを成し遂げるためにも授業では教科書の内容を複数回繰り返す「ラウンド方式」の授業を行っています。例えば、ひとつの英文を違った角度から学習することでひとつの英文に対する理解度は深まり、解釈の幅も広がります。そしてそういった学びの積み重ねが、将来役に立つ「骨太な英語力」の獲得につながるのです。

教科書から抜け出した本物の異文化体験

海外修学旅行

中学校の修学旅行は3年次2月にシンガポール及びマレーシアで検討しています。現地の国立大学、現地の中学校との交流、日本企業の海外支社見学を中心に意義ある、また楽しく思い出に残るプログラムを計画しています。3年間で身につけた英語力を試す絶好の場になることは間違いありません。



数 学

MATHEMATICS

数学的に考える資質と能力を育てる

「数学は計算すること以外、普段の生活とはあまり関係ない」と考えていませんか？それは違います。数学で問題を解く、答えを導き出すという過程は、実は人の「論理的思考力を養うこと」に直結するのです。「論理的思考力」とはつまり「問題解決能力」のこと。数学においてそのために必要なのが、数量や図形などについての基礎的・基本的な知識と技能を身につけることなのです。それらの知識と技能は、いわば問題解決のためのアイテムです。そのアイテムを活用して思考力、判断力、表現力を育めば、人間力もグンとアップしていきます。

そのための授業展開とは…

主体的に学ぶこと、そして思考力の向上に向けて、本校の数学はディスカッションやグループワークを積極的に行う“楽しい学び”を展開します。また、数学と普段の生活を結びつけるために生活に即した現象を取り上げ、「数学的思考能力」で解決へと導く過程を仮想体験してもらいます。加えて、ICT機器を用いた数学の現象などを学んだり、「物の構造」などを実際に見て・触れて理解を深めるほか、教室から外へと飛び出した「フィールドワーク」を行うことで「数学と実社会」の関係性を理解しながら「数学的思考能力」を養っていきます。



「おぼえる」ではなく「理解する」数学

数学では、結果に到るまでのプロセスをしっかり考える力が大切です。その力は知識をただ覚えるだけでは身につけません。覚えた知識を活用して原理を理解していくという頃からの努力が重要なのです。授業での座学、問題演習、グループワーク、ディスカッション等を通じて一緒に楽しく、そして深く数学を学んでいきましょう。

数学担当：杉田 洋平 先生 SUGITA Youhei

楽しむ数学・味わう数学

中学の数学は、これまでに皆さんが学んだことのない新しい見方・考え方がたくさんできます。これらを知ることは皆さんにとって楽しく有意義なものになることでしょう。そこでさらに一歩踏み込んで、「どのようにしてその見方・考え方が生まれたのか」を一緒に考えて見ませんか。成り立ちや背景に触れることで、数学のもつ奥深さや美しさを感じてみてください。

国 語

JAPANESE

たくさんの“ことば”をもった生徒を育てたい

SNSなどの普及によって、非言語コミュニケーションが発達した現代社会だからこそ、“ことば”と対峙する機会を多く持つてもらいます。学びにおいてはテクニカルなことに走らず、基本的な漢字や語彙を自在に操る力、自ら本を手取る姿勢、文章に向き合う習慣を身につけた上で、段階的に読解技術を習得。加えて様々な表現活動（ビブリオバトルやディベートなど）を通じて「伝える力」と「論理力」を磨き、国内外、分野を問わず活躍できるための素養（＝国語力）をもった生徒を育てます。

たくさんの“ことば”をもった生徒を育てたい

アクティブ・ラーニングを主体とした授業展開で「ことば（言語）を扱う楽しさ」を実感してもらいます。授業では毎回、「思考」と「表現」の機会を用意、生徒の個性と向き合い、それを伸ばしながら、一人ひとりが確かな根拠に基づいた思考ができるように育てていきます。



未知なる課題に対峙できる言語力を養う

私たちは常に“ことば”を用いて物事を捉えています。また、これから皆さんは世界の様々な課題に向き合っていく必要があります。そのためにはことばを正確に扱う力が不可欠です。中学校ではまず、古今を問わず多くの優れた文章に触れることで感性を磨きながら、社会を俯瞰する視点を持つてもらいたいと考えています。そして自らが考えたことを適切に表現・発信するという機会を通じて、課題解決のための土台となる力を築いてもらいたいと考えています。また、本校での様々な取り組みを通して、国語力というのが、極めて横断的な力であることを実感してほしいと考えています。

国語担当：田部 玲 先生 TABE Rei

国語力を育てる、5つのメソッド

確かな読解力を持ち、物事を論理的に思考し、それを表現することができる本当の意味での「実用的な国語力」を身につける。そのために「読む」ことを基本に「書く」「聴く」「話す」の4技能を横断的に育成するのが本校独自の、“5つのメソッド”です。

1 読む

毎日の朝読書を通して活字に触れ、本に親しむ習慣を身につけます。この時、教員も一緒に朝読書を行うことで生徒と時間と空間を共有し、一日の学びに向かう姿勢と雰囲気を作り上げます。

2 読む×書く

『社説ノート』を活用して100字要約を行い「事実」と「意見」の切り分け方法を学びます。また読書感想文や小論文コンテストを開催、仲間とお互いを高め合う機会を設けます。さらには人文学、自然科学、社会学など広い分野の課題図書や小論文の取り組みを通して社会や理科、数学など他教科との横断的な学びを実践します。

3 読む×聞く（観る）×書く

古典の授業では歌舞伎、能、狂言など古典芸能に触れる機会を多く設けます。いずれも事前学習を行った上で、劇場で古典芸能を体感し、鑑賞後はレポート作成・発表を行います。「劇場での鑑賞＝本物に触れる」ことで文化継承の大切さを感じてもらうことも大きな狙いです。

4 読む×話す×聴く

授業でビブリオバトル（自分の気に入った本の魅力を紹介し合うゲーム）やディベートを実施するなど、人に伝える機会、人の話を聴く機会を多く用意します。そこで「発信する側」としての表現方法やことは選びを学びつつ、「話の受け手」としての態度と聴く力を養います（それらはやがて他者理解へとつながります）。

5 “無理はさせない充実した古典学習”

中1の段階から百人一首の音読や漢文の音読を行うことで、古典に対する“敷居を低くする”とともに、古典の文章感覚を無理なく頭に染み込ませます。中学の古典学習は高校古典の基礎構築が大きな目標です。無理なく充実した学習とするため、年に一度、学びと遊び感覚を両立させた百人一首大会（団体戦）を開催します。

理 科

SCIENCE

興味・関心に根ざした、 高度な思考能力を身につける

理科の出発点は「なぜ?」「どうして?」という多くの疑問です。「どうして雨は降るの?」「なぜウイルスは収まらないの?」といった身近な事象・現象もそのひとつ。そういった“なぜ、なに”を考え、その仕組みや“秘密”を解き明かすため、科学への興味・関心に裏打ちされた高度な数理的思考能力を養うと同時に、科学的な思考を持って複雑化している社会の様々な問題・課題に対峙しようとする態度を身につけます。

基礎力養成期

生物と地学を入口に、理科への興味を喚起する

生命現象と地学現象は様々なスケールで関連しています。そこで起こる科学現象の関連性の理解をテーマにした、実験観察中心の学びを展開。「そうだったんだ!」といった発見や驚きを大切にすると同時に、それらの現象を論理的に説明する力を育てます。

数理的思考力の基礎を築く

「図形」や「単位あたりの量」「比・割合」といった算数の主な単元は、中学・高校で学ぶ理科科目の根幹となる重要な要素です。それら基礎的部分の構築を独自のプログラムで展開し、ハイレベルな数理的思考力のベースを作り上げます。

実力養成期

化学と物理の学習がスタート! 目に見えない世界への“洞察力”を磨く

中3～高1の実力養成期は、原子や分子、力やエネルギーといった抽象的な概念を、具体的なイメージとともに理解していくステージとなります。中高一貫の連続的なカリキュラムを活かし、高校化学・物理につながる下地作りを行います。

理科と関連した工学を学び、科学技術への関心を高める

中学・高校で学ぶ理科は身の回りの様々な製品作りに活かされています。エンジニアリングに関連した総合学習プログラムを授業と並行して実施し、光や音の性質、力学や電磁気学の法則を活用した工作に親しみながら創造力や問題解決能力を育みます。

完成期

課題解決型の実験・実習に取り組み、 大学入試に対応する思考力を養う

すべての理科学科において、与えられた課題について自ら実験を考察する課題解決型の実習を各単元の終わりに設定し、知識の活用と思考の涵養をメインテーマに学習を進めます。大学入試基礎を先取りし、高3は演習や実習中心の講座を展開します。

探究論文への取り組みを通じて、 科学への好奇心と学習意欲を刺激する

高校特進コースでは、総合探究活動の一貫として自らテーマを設定した論文を作成しています。中高一貫生は、6年一貫ならではの余裕あるカリキュラムのもと、この取り組みをさらに拡充。各種科学論文コンテストにチャレンジする生徒をサポートすると同時に、定員が拡大傾向にある総合選抜型の大学入試にも対応していきます。

社 会

SOCIETY

現代社会で主体的に 活動できる人材を育成

現代社会を多面的・多角的に捉える能力を養い、自ら思考して諸問題を発見し、それらを解決するために主体的に活動できる人材を育成します。その一環としてICT機器などを活用し、情報技術と能力を身につける一方、高校での学習がスムーズに行えるための基礎を築きます。

基礎力養成期

充実した現場学習プログラムと、 情報活用技術の 習得を目指す

地理の授業では国土地理院へ、歴史の授業では歴史博物館、公民では裁判所や証券取引所といった実際の現場を事前学習を踏まえた上で見学・体感することで、社会に対する興味・関心を高めめます。同時にICT機器やソフトウェア教材を駆使して生徒が主体的に参加できるAI型授業を展開、問題解決能力を育成します。

実力養成期

五感をフル活用した体感的授業と、 流通経済大学との コラボレーション授業

多感な中学期に歌舞伎や茶道など日本の伝統や文化に触れる独自の体験型プログラム(社会科教員が考案)を実施します。また、付属校の利点を活かして流通経済大学の法学部、経済学部、社会学部と連携し、大学教授陣による出張授業や大学キャンパスを訪問しての講義受講、さらには大学生とのグループワークなどを実施。大学での学びや進学イメージを増幅させて意欲を向上させます。

完成期

他教科との 連携による クロス・カリキュラム

例えば修学旅行や海外留学の事前学習をターゲットに、国語や英語などの各教科と連携してひとつの題材を扱うことで各教科の学びの幅と奥行きを深めるなど、深度のある教育を追求します。また、大学受験に備えるこの時期は、生徒の希望進路の実現に向け、放課後や夏期・冬期休業期間中に「受験対策講習」を実施、生徒の受験を学校全体でサポートし、バックアップしていきます。

興味・関心に根ざした、高度な思考能力を身につける

綺麗に咲く花は、次の世代に自分の遺伝子を残すための重要な種子をつくるための器官です。双眼実態顕微鏡を用いて詳しく観察していくと、「めしべ」や「おしべ」または、「雌花」や「雄花」が離れていることに疑問を持つ生徒たちが現れました。効率的な受精を考えるのであれば、一体化している方が有利なはず。そこから多くの植物を観察し、考えていくことで生命の多様性や不思議さに触れていきます。何よりも体験に基づいた好奇心から身近な自然を理解する姿勢を育成し、科学的な視点をもって社会で活躍できる能力を育成します。

理科担当：兼 龍盛 先生 KANE Ryusei

生徒一人ひとりの可能性を大切にする

科学技術の進歩や自然環境の変化によって社会は急激な変化を遂げ、数年先の社会情勢の予測も困難な時代にあって、社会科では「変化する社会に柔軟に対応できる力の育成」を目標に掲げ、様々な教育プログラムを通して生徒の社会探究心を高めます。自らが問いを立て、協働して解決に向かうグループワークなどを通じて、社会との関わりを実感し、社会・環境問題への関心を深め、その解決のために自分がどうすればよいかを主体的に考えられる生徒の育成をめざします。

社会担当：森重勝範 先生 MORISHIGE Katsunori

School Days

流通経済大学付属柏中学校には
充実した3年間があります。

仲間と過ごす時間は かけがえのない宝物。
充実したスクールライフを紹介！
部活動と勉強を両立できる環境があります。

両駅スクールバスで約10分



つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス駅(西口)」および、東武アーバンパークライン「江戸川台駅(東口)」よりスクールバスを運行しています。

08:20 登校



最寄り駅は「江戸川台駅」と「柏の葉キャンパス駅」。両駅からスクールバスを運行しています。光が差し込むキレイな校舎で気持ちよく1日をスタート！

08:30 朝読書・SHR



出席確認や連絡事項を聞くとともに、読書で心を落ち着かせ、始業に向けて気持ちを切り替えます。

08:55 1～4限目



授業は50分間。ICTを活用した授業にも力を入れており、1人1台のノートPCを活用して小テストや課題に取り組みます。

12:45 昼休み



友人たちと昼食やおしゃべりを楽しみ、フレッシュタイム！2号館の1階にはゆったりとした空間の陽光そそぐおしゃれなカフェテリアがあります。

カフェテリア

成長期の生徒たちへ

女性の店長、管理栄養士の資格をもつスタッフたちが提供してくれるたくさんのメニューは、カロリー、栄養、味、どれをとってもビカー。食べ盛りの胃袋も満足できるはずです。



13:30 5～6限目



英語では大学入試も考慮し、1年次からさまざまなプログラムを導入。グローバル社会に対応した生きた英語力が身につきます。

15:30 部活動



どの部活動も活気にあふれ、それぞれの目標に向かい一生懸命取り組んでいます。高等学校の先輩と一緒に活動することもあります。

放課後学習



放課後の時間を使って、もっと色々学んでみたい。本校では講座や放課後学習センターを用意しています。部活動と両立でき、受験の大きな力になります。

18:30 下校



友人と一日を振り返ったり、明日のことを考えたりしながらそれぞれ帰宅の途につきます。自宅での学習もしっかり行いましょう。

Events

授業だけでは学べない
大切な時間があります。

多角的に展開するイベントと、
心身を豊かに育む体験が繰り広げられます。

4

April

始業式・着任式 | 入学式 | 新入生歓迎会 | 健康診断
新入生オリエンテーション | 外部実力試験 | 避難訓練

5

May

学級父母懇談会 | 父母の会総会 | 1学期中間考査

6

June

体育祭 | 校外学習(2・3年)

7

July

1学期期末考査 | 三者面談期間 | 夏期講習

8

August

夏期講習 | 2学期始業式 | 海外語学研修(希望者)

9

September

流輝祭(文化祭) | 外部実力試験

10

September

2学期中間考査

11

November

校外学習

12

December

2学期期末考査 | 三者面談期間 | 冬期講習

1

January

外部実力試験

2

February

海外修学旅行(3年) | 校外学習(1・2年)

3

March

学年末考査 | 卒業式 | 修了式・離任式 | 春期講習



Club Activities

SPORTS [運動部]

目標をもってやりとげることによって強くなる

男子サッカー部 / 女子サッカー部 / ラグビー部 / 硬式野球部(高校) / 軟式野球部(中学) / 柔道部 / 剣道部 / 駅伝部 / 新体操部 / チアリーディング部 / 男子バスケット部 / 女子バスケット部 / 男子バレーボール部 / 女子バレーボール部 / 男子テニス部 / 女子テニス部 / バドミントン部 / 弓道部 / 卓球部 / 応援指導部(臨時編成)



Club Activities

CULTURE [文化部]

仲間と一緒に打ち込むことで絆もより深まる

吹奏楽部 / 書道部 / 放送部 / 演劇部 / 文芸部 / 茶華道部 / 美術部 / 軽音楽部 / 箏曲部 / 競技かるた部 / ESS / 将棋同好会 / 科学部 / プログラミング研究会



高校の進学実績

東京大、東北大、筑波大をはじめ国公立大学に合格。
早慶上理、GMARCH、その他有名私大にも多数合格。

本年度も東京大、東北大、筑波大をはじめとした国公立大学や
有名私立大学にも多数合格し、進学実績は伸びています。

過去5年間の大学合格実績（ ）内の数字は過年度卒業生(内数)

〔国立大学〕

大 学 名	2023	2022	2021	2020	2019
茨城大学	3(1)	2	3	2	3(1)
岩手大学			1		
宇都宮大学		2(1)			
愛媛大学		1			
大阪大学		1			
お茶の水女子大学	1	1	1		
帯広畜産大学				1	
金沢大学			1(1)		
東北大学	2				
埼玉大学	2		4	1	1
信州大学				1	
千葉大学		4(2)	1	1	2(1)
筑波大学	5(1)	2	3	4	1
電気通信大学					2
東京大学	1				
東京海洋大学	1	1		1	
東京外国語大学		1		1	
東京学芸大学		1	1		
東京工業大学		1(1)		1(1)	
東京農工大学		1			
一橋大学		1		1	
北海道教育大学		1			
横浜国立大学			1(1)		
埼玉県立大学	1(1)			1	1
高崎経済大学		1			
千葉県立保健医療大学	2			1	
東京都立大学		1			
前橋工科大学	1(1)			1	
横浜市立大学	1				1
静岡大学	2				1
合計	22(4)	22(4)	16(4)	17(1)	11(2)

系列大学への進学

〔流通経済大学 学部・学科別 内部推薦内訳〕

学 部	学 科	2023	2022	2021
経済	経済	7	5	6
	経営	5	6	6
社会	社会	5	7	9
	国際文化・ツーリズム	2	6	4
流通情報	流通情報	7	2	4
法	自治行政	2	10	8
	法律	6	10	7
スポーツ健康科学	スポーツ健康科	22	31	14
	スポーツコミュニケーション	2	6	7
合計		58	83	65

〔進路別割合(現役)〕

	2023	2022	2021
四年制大学	82.6%	84.9%	82.1%
短期大学	0.9%	0.7%	0.8%
専門学校	5.7%	5.7%	7.2%
進学予備校等	5.4%	6.4%	6.7%
就 職	0.6%	1.4%	2.1%
海外留学・その他	4.8%	0.9%	1.1%



卒業生の声

「憧れの先輩たちのように、挑戦する気持ちを忘れない」

目標をもって3年間で学ぶことで夢は必ず叶うはずです。

チャレンジ精神を持ちながら、自分の目標に向かって努力し夢を叶えた先輩たちからのコメントは、
勉強へのモチベーションをより一層高めてくれるはずです。

東京大学 理科一類

普通科 特別進学コース

宮 嵯 碧 羽

MIYAZAKI Aoi



目標大学の合格だけではなく
流輝祭が一番の思い出

クラスの雰囲気も、環境も勉強することに恵まれており、授業のみならず、放課後も遅くまで残って勉強に集中することができました。また、先生方が常に勉強のアドバイスをしてくださったことで、目標を見失うことなく過ごすことができました。3年間新型コロナウイルスの影響で様々な行事が自粛となりましたが、最後の流輝祭でクラスが一つになり、ジェットコースターを作ったことが一番の思い出です。

お茶の水女子大学 文教育学部

普通科 特別進学コース

栗 原 萌 夏(姉)

KURIHARA Moeka



受験は自分自身と向き合う
絶好のチャンス

私が所属していた特別進学コースでは個性的で良い友人にたくさん恵まれました。同じ志を持つ同級生たちと日々、切磋琢磨し、勉強や将来に対して高いモチベーションを持ち続けることができました。受験は自分自身と向き合う絶好のチャンスであると私は考えます。可否はもちろん大切ですが、これから何をしていきたいのかを追求する姿勢を大切にしたいと思います。

熊本大学 医学部 → 医師

(国立病院機構千葉医療センター)

普通科 特別進学コース

金 潤 実

KIM Yunshil



クラスの友人や
先生に支えられた高校時代

医師の方による講演会を通して、この職業に魅力を感じ、医学部進学を決意しました。その後、目標に向けて朝早くから夜遅くまで勉強をしましたが、辛く苦しい時期を支えてくれたのがクラスの友人と先生でした。流経大柏はコースごとに様々な目標を持つ人が集まる学校です。熱心で生徒思いの先生がたくさんいらっしゃるので充実した学校生活を送りたい人にはぴったりだと思います。

一橋大学 経済学部

普通科 特別進学コース

赤 金 龍 之 輔

AKAGANE Ryunosuke



将来を見据え進路決定を
することができました

私はレベルの高い環境でサッカーをやりながら、難関大学に合格するための学力を身につけたいと思い、特別進学コースに入学することに決めました。部活動の練習と寮生活の中で受験勉強に向き合うことは大変で、辛いと思う時もありましたが、部活のスタッフや、先生方の助けや励ましのおかげで目標を見失わずに過ごすことができました。サッカーと勉強に明け暮れた日々は、他では絶対に経験することができない有意義な時間でした。

お茶の水女子大学 文教育学部

普通科 特別進学コース

栗 原 夏 海(妹)

KURIHARA Natsumi



私たちと同じ熱量で3年間を
送ってくれた先生方に感謝

志望大学に合格できた大きなポイントは、困った時すぐ頼れるような先生方が身近にいたこと、そしてそのような関係性を作れていたことが一番の鍵だったと思います。もちろん、最終的には自分自身のやる気や努力を保ち続ける他ないのですが、支えてくださる先生方の存在が私に大きな安心感を与えてくれました。担当教科や受験に熱心になってくださる先生方が多いので、自身のモチベーションにも繋がり、最後まで諦めずに進むことができました。

流通経済大学 経済学部 → 日本通運株式会社

(日本通運株式会社)

普通科 スポーツ進学コース

高 橋 廉 蔵

TAKAHASHI Renzo



高校時代の経験が
今に生きています

私は長野県からスポーツ進学コースに進学し、野球部員として寮生活をしながら過ごしました。全国から夢を抱いて生徒が集まり、スポーツで活躍するために夜遅くまで主体的に練習していたり、将来の目標のため放課後黙々と勉強に取り組んでいた同級生が数多くいて、当時の私にはとても刺激になりました。様々な価値観や意見を取り入れる経験ができ、グローバル企業とされる当社において仕事をする上で、言葉以上に意味あるものを高校時代に得ることが出来ました。

International exchange [国際交流]

多様なプログラムを設定し国際交流を育んでいます

グローバル化がすっかり定着してきましたが、本校では開校当初から時代の変化を見据えて国際交流に力を注いできました。これまで、毎年夏休みには希望者を対象に、アメリカ、オーストラリアなどに約3週間の語学研修旅行を実施してきました。また、1999年からは、フランスのリヨン市にある、ソルボンヌ大学やパリ大学に多数進学する名門校・オンブローザ校との短期交換留学を行い、現在も継続して交流を深めています。さらに、本校独自のニュージーランドへの語学研修（希望者）も実施しています。

（国際情勢などの理由により変更になる場合があります。）

OMBROSA [フランス]



ニュージーランド語学研修（希望者）



ニュージーランドの家庭にホームステイしながら、語学をはじめ、さまざまな異文化と触れられる語学研修が実施されます。南半球にあるニュージーランドは豊かな自然や酪農が盛んで治安の良い安全な国です。本校独自のプログラムで行うもので、滞在期間は短い（約2週間）ですが、前後に留学のための英語学習（必修）が組み込まれているのが特徴で、単なる体験だけでなく、これを大学入試の合格に結びつけることを視野に入れて実施するものです。現地の生徒とのコミュニケーション、ホームステイ先を通して体験するニュージーランドの習慣、暮らし、文化。語学力を磨くとともに、世界の多様性が身をもって体験できる貴重な語学研修です。

（国際情勢などの理由により変更になる場合があります。）

国際交流

海外からの留学生・研修生の受け入れ

流通経済大学と連携して行っている国際交流もあります。同大学と国際交流協定を結んでいる海外の大学の学生が本校を訪れたり、スポーツ振興で招いた国の生徒や子供達が本校生徒と交流する機会も増えつつあります。

①.OMBROSA校からの留学生 ジャンヌ ②.南オレゴン大学の学生との交流（2018年） ③.ネイティブイングリッシュティーチャーLUCIUS先生の少人数の授業 ④.アメリカの大学生、ラオス、ベトナム、フィリピンの少年少女が来校して、英語や体育の授業に参加したもの



Uniforms [制服]

伝統のネイビーブレザーの胸に流経のエンブレムが刺繍されています。

女子は白と紺のスカートを基本とし、スラックスも用意されています。

男子は紺のスラックスを合わせます。



流通経済大学への付属高校特別推薦

流通経済大学付属柏高校の生徒は、流通経済大学の全学部・全学科に本人の希望に応じて付属高校特別推薦（条件はありますが、大半は可能です）で進学することができます。実学主義を教育の柱とする流通経済大学は、「就職に強い大学」としても定評があり、卒業生はさまざまな分野で活躍しています。付属高校特別推薦は全コースに適應され、毎年、多くの生徒が流通経済大学に進学しています。

学校法人 日通学園

流通経済大学		
経済学部	社会学部	
経済学科／経営学科	社会学科／国際文化ツーリズム学科	
流通情報学部	法学部	スポーツ健康科学部
流通情報学科	法律学科／ 自治行政学科	スポーツ健康科学科／ スポーツコミュニケーション学科
大学院		
経済学研究科／社会学研究科／物流情報学研究科／法学研究科／ スポーツ健康科学研究科		
流通経済大学付属柏高等学校		
全日制普通科		
特別進学コース／総合進学コース／スポーツ進学コース		
流通経済大学付属柏中学校（2023年度開校）		

Afterコロナ時代の 新たな学校づくり

安全・安心の取り組みについて

生徒一人ひとりの安全と安心を確保するために、さまざまな取り組みを行っています。

- 徹底した感染症予防対策
- 保健・衛生管理の徹底
- 登下校管理システムの導入
- 緊急時には家庭に一斉発信
- 安全帰宅マップの作製
- 心の病やいじめ問題にも迅速に対応
- 防犯カメラの設置
- スクールバスの運行
- カフェテリア 兼 食堂



建物についても、災害時の避難所と同等の耐震性能を有し、衛生面などにも配慮しています。感染症対策では、手洗い自動水栓、手洗いの多数設置、換気量・空調能力の増強、抗菌・抗ウイルス建材の採用や上下二足制などの対策が施されています。

Surroundings [環境・施設]

緑あふれた豊かな自然、アカデミックな環境
学習へのモチベーションもより高まる

アカデミックな学園都市・柏の葉キャンパス

つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅よりスクールバスが運行(東武アーバンパークライン江戸川台駅の両駅から運行)しています。柏の葉キャンパス駅周辺には東京大学柏キャンパスや千葉大学柏の葉キャンパスなど時代をリードする研究・教育施設が集まっています。駅を中心とした広大な地域で公共×民間×大学が連携して、「国際学術都市」、「次世代環境都市」を目指した「柏の葉国際キャンパスタウン構想」が進行しています。



スクールバス・ロータリー



中学校校舎外観



理科実験室 [図書・メディア棟 1階]



図書室 [図書・メディア棟 2・3階]



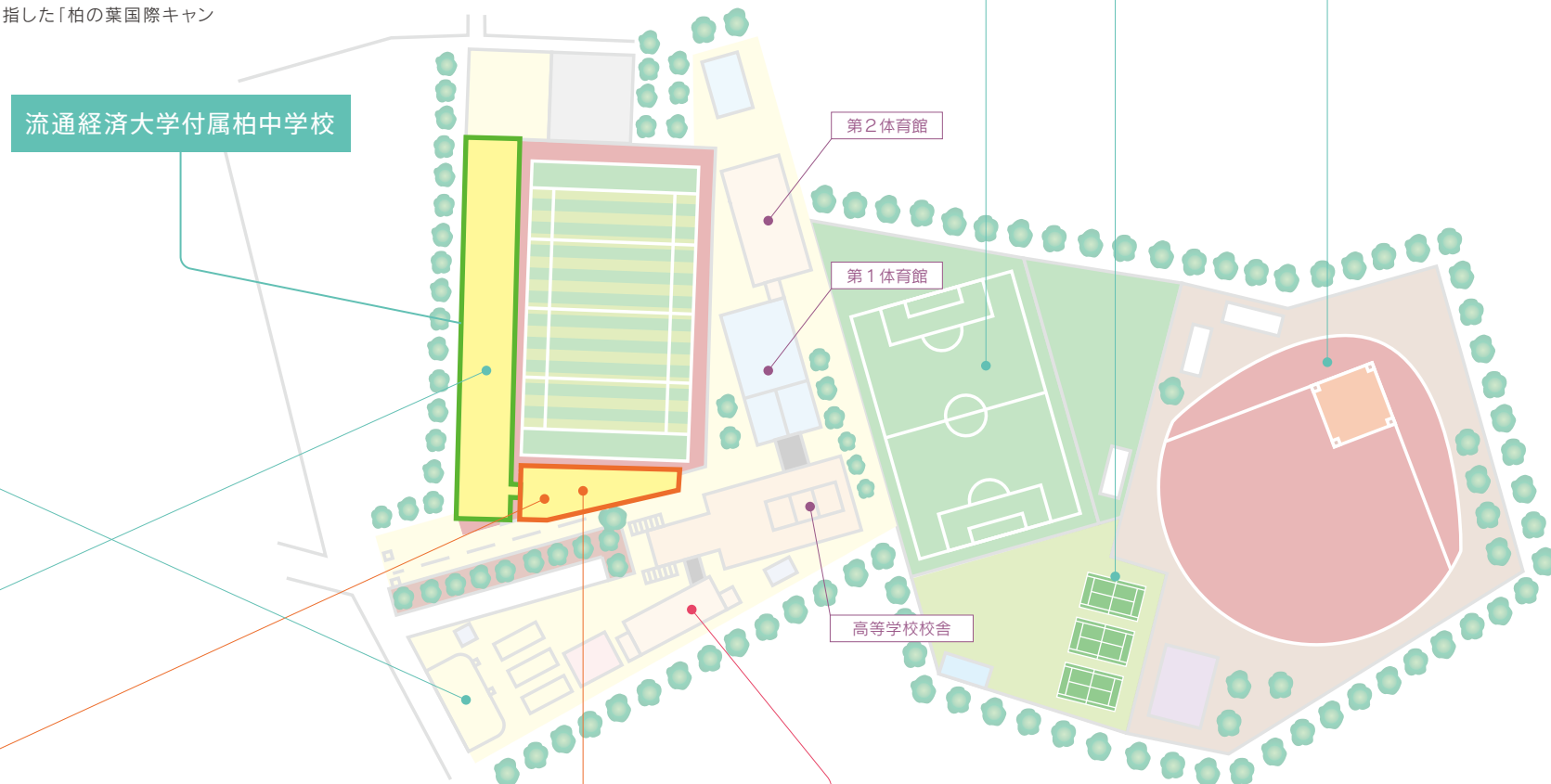
第2グラウンド



テニスコート



野球場



カフェテリア

校舎棟2号館の1階にはゆったりとした空間の陽光そそくおしゃやかなカフェテリアがあります。店内には、カラフルな色合いのイスが並べられており、244人がのびのび座ることができます。女性の店長、管理栄養士の資格をもつスタッフたちが提供してくれるたくさんのメニューは、カロリー、栄養、味、どれをとってもビカー。食べ盛りの胃袋も満足できるはずです。



登校時から学校生活においての
様々な感染防止対策



つくばエクスプレス 柏の葉キャンパス駅前



東京大学柏キャンパス

四季折々の自然が織りなす緑豊かなキャンパスも本校の自慢のひとつです。82,000㎡の広々としたスペースには、生徒が全力で勉強、スポーツ、行事などに取り組めるよう様々な設備が施されています。校舎棟の1号館・2号館は、HR教室、特別教室、自習室などが設置されており、1年を通して生徒が快適な環境の中で学力を育むことができるように冷暖房の完備も万全です。また、部活動、体育の授業、学校の行事などを中心に利用されるスポーツ施設も、屋内外ともに充実しています。屋内には2つの体育館、弓道場、最新のマシンが配置されたトレーニングルーム、全天候型人工芝の2つのグラウンド、硬式野球場、その他多目的グラウンドが整備されているなど、恵まれた環境です。